

佐世保市立黒髪小学校

所在地 佐世保市黒髪町52番1号

校長 吉田 秀雄

児童数 497名 学級数19

く

工夫し

ろ

論じ合う子ども

か

体と心をきたえ合う子ども

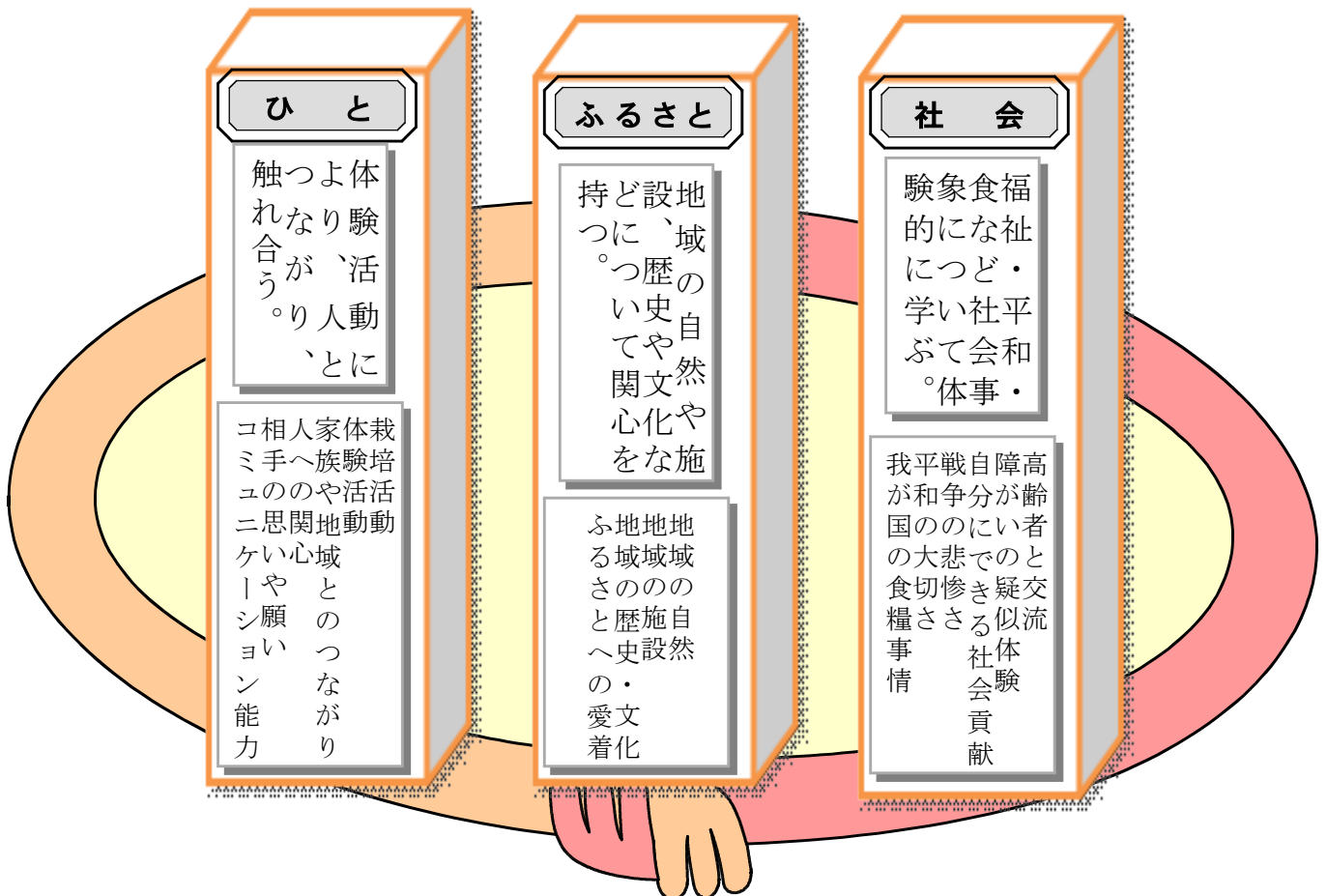
み

認め合う子ども



【目的】

ひと，ふるさと，社会とつながることにより，夢や希望（ロマン）を抱き，確かな学力を身につけ，心豊かでたくましく生きる黒髪っ子の育成を目指す



つながる

ソーシャルスキルトレーニング
質の高いコミュニケーションスキル

(1) 夢や希望（ロマン）を抱き，心豊かでたくましく生きる黒髪っ子の育成

【第1学年】「花の栽培」「老人クラブとの交流」（ひと）（ふるさと）



【ねらい】

- ・チューリップとノースポールの種を継続して育てることにより，命を大切にする心と態度を育む。
- ・老人クラブの方に昔遊びを教えていただき，一緒に遊ぶ中で，遊びに親しむとともに地域の方と交流を深める。

【活動の概要】

- ・チューリップの球根とノースポールの種を一人一鉢植えて，毎日世話し，成長の様子を観察した。
- ・地域の老人クラブのお年寄りと児童が，カルタ，おはじき，メンコ，お手玉などの昔遊びを通し交流した。活動後は給食も一緒に食べ，交流を深めた。

【成果と課題】

- ・チューリップとノースポールの発芽，生長の様子を観察することで，植物を大切にする心，態度を育むことができた。
- ・昔遊びの楽しさを知るとともにお年寄りとの交流を深めることができた。
- ・1，2年合同の活動とすることで，縦割り活動も充実させることができた。



【第2学年】「ぐんぐんのびろ」「老人クラブとの交流」（ひと）（ふるさと）

【ねらい】

- ・野菜を育てることで，命を大切にする心を育てる。
- ・地域のお年寄りに昔遊びを教えていただくことで，昔遊びに親しむとともに地域の方との交流を深める。

【活動の概要】

- ・さつまいもやミニトマト，ピーマン，キュウリを育てた。
- ・つるさしや収穫では，地域の方をゲストティーチャーとして招き，方法を教えていただいたりお手伝いいただいたりした。



- ・昔遊びでは2年生がリーダーとなって1年生のお世話をしながらお年寄りとの交流を深め楽しんだ。

【成果と課題】

- ・ゲストティーチャーから「思いやり」についての話を聞き，熱心に世話をすることができた。また，作物を食することで収穫の喜びを深めていた。
- ・昔遊びを通して，地域のお年寄りとの交流を深めることができた。また，2年生としての自覚を持って1年生のお世話をすることができた。



【第3学年】「ふくしってなあに」（ひと）

【ねらい】

- ・世の中には身体的なハンディを負いながらも懸命に生きている人がたくさんいることを知り，自分たちにできることを考える。

【活動の概要】

- ・アイマスクやシニア体験セットによる疑似体験をする。
- ・資料を読んで話し合ったり，自分で調べたりして，目の不自由な人や年をとった人の生活の実態について知り，接し方や社会のあり方を考える。

【成果と課題】

- ・アイマスクやシニア体験セットによる疑似体験を通して，身体が不自由な人が普通に生活することの大変さを実感することができた。
- ・調べ学習において，「分かち合い助け合う」ことの大切さを学ぶこともできた。



【第4学年】「2分の1成人式」(ひと)

【ねらい】

- ・今まで育ててくれた家族やお世話になった人への感謝の気持ちを育て、将来の夢に向かって努力する態度を育てる。



【活動の概要】

- ・「2分の1成人式」を計画し、その中で、自分の成長を振り返るとともに、将来の自分はどうかありたいのかを語る機会も設けることで、自分の夢を見つめ、その夢に向かって努力しようとする気持ちを持つことができた。
- ・保護者を招待し、よびかけ「旅立ちの招き」を演奏し、その中で、音楽発表会



での発表曲を歌うことで、感謝の気持ちを表現させた。

【成果と課題】

- ・保護者へ感謝の手紙を渡したり、保護者から児童への励ましの手紙を渡してもらったりすることで、夢に向かう気持ちがさらに高められた。

【第5学年】「食をみつめて」(ひと)(社会)

【ねらい】

- ・食を作る、食を選ぶ、食に感謝するという視点で学習し、食の改善を考え実践する力、食品の安全性や食べ方に感心を持ち、これからの食糧生産、食糧確保に関して探究する力食を大切に、感謝する心を育む。

【活動の概要】

- ・ごみ減量アドバイザーの方を招いて、「食と健康の関係」や「食の問題」について講演していただき、野菜くずを利用して野菜を育てた。
- ・日本が抱える食の問題を調べ学習を行い、黒小フェスタにおいて発表を行った。



【成果と課題】

- ・講師を招いて講演していただいたり、土作りなどの体験活動を行ったことで、食生活を見直そうとする意欲や日本が抱える食の問題を改善したいという気持ちを高めることができた。
- ・黒小フェスタを発表の場としたことで、発表に対する児童の意欲が高まった反面、クイズやすごろくなどゲーム性を高めるために、調べた内容を十分に伝えることができないグループも見られた。



【第6学年】「お年寄りが生き生きと暮らせる社会に」(ひと)

【ねらい】

- ・お年寄りとのコミュニケーションができるようにするとともに相手を思いやって行動することができる態度を養う。
- ・お年寄りが抱える課題に気づき、それを解決するための方法を調べ、伝えることができるようにする。



【活動の概要】

- ・高齢者体験セットを社会福祉協議会から借りて疑似体験を行い、体や動きについて理解を深めた。その体験を生かして、特別養護老人ホームを訪問し、施設利用や入居されているお年寄りと交流を行った。
- ・「お年寄りが生き生きと暮らせる社会に」というテーマで調べ活動を行い、ポスターセッションを行った。

【成果と課題】

- ・お年寄りに喜んでもらえることで、自己肯定感を高めることができた。
- ・ポスターセッションにより目的意識を持って表現活動ができた。
- ・十分な体験や再調査ができず、お年寄りの課題に十分に迫ることができなかった。



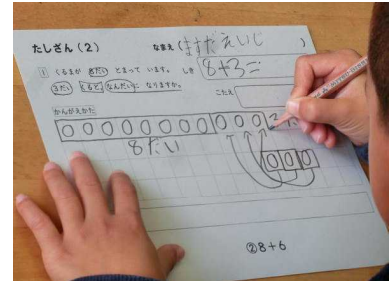
(2)「確かな学力を身につけ」た黒髪っ子の育成

①子どもたちの実態把握

従来より本校児童の学力の課題として、国語科の書く力、算数科の思考力・活用力の不足が挙げられている。本校においては、平成24年度より算数科における言語活動の活性化により、思考力・表現力の向上を図る授業作りにより実態の改善に努めてきた。今年度も取り組みを始める5月に2～6年生で学力テストを実施し、これまでの実践の効果測定を測り、研究推進の方向性を定める参考とするとともに、各学年の学力向上の具体策策定の資料として活用した。

②校内研修の充実

前述の児童の実態を踏まえ、今年度の校内研修のテーマを「自分の考えをもち、わかりやすく伝え合う黒髪っ子の育成をめざして」と設定し、算数の授業において数学的な表現力を高めていく研究を行った。



ア：実践的な校内研修へ

2年間をかけて蓄積してきた黒髪小表現力UPスタンダード・授業構成の共通実践を徹底し、その中から改善点を見出し、それぞれの完成度を高めるというコンセプトのもと実践的を中心とした校内研修に取り組んだ。

イ：数学的な表現力を高めていく授業の展開



- ・問題を解決するために、考えた過程や結果を数学的手法（言葉、数、式、図、表、グラフ、具体操作など）を用いて表現する「かく場面」の設定。
 - ・数学的手法を用いて、自分の考えを事実や順序、根拠をはっきりさせて説明したり、聞いたりする「伝え合う場面」の設定。
- 上記の2つの場面設定を行い、表現力向上に努めた。

ウ：黒小表現力UPスタンダードの蓄積

- ・テープ図や数直線図などの指導手順
 - ・「話す力・聞く力レベル表」の配布、掲示および授業での活用
 - ・伝え合いの形態
 - ・学習感想のポイント
- ・「めあて・まとめ」の提示、書く場面の設定、伝え合いの目的の明確化など
- 2年間をかけて蓄積してきたスタンダード、授業構成の共通実践を徹底し、その中から改善点を見出し、それぞれの完成度を高める取り組みを行った。

エ：ソーシャルスキルトレーニングの実施

表現力の向上を図っていく際には、学級の支持的な風土の確立は基礎的な要件となる。そこで「集団の中で自分の考えを伝える力」「相手の考えを受け止める力」を中心とした質の高いコミュニケーションスキルを育てるソーシャルスキルトレーニングを全校で実施した。クラス毎に児童一人一人に相手の意見を尊重する態度が育つと、それぞれが自分の考えを発言しやすくなり、それが表現力の向上につながり、学び合い、高め合うという質の高い学習が可能となる。

③成果と課題

- ・昨年度に比べ、ソーシャルスキルトレーニングの計画的な実施を意識的に行う職員が増えた。それにより、児童の言葉遣いや振る舞いに、少しずつ変化が出てきており、教師も学級の支持的風土作りへの手ごたえを感じているという意見が大半を占めた。
- ・表現力の育成の土台となる伝え合いのルールを、より授業で活用しやすい形である「話す力・聞く力レベル表」に整理し、児童にも配布および各教室に掲示したことにより、形式的な伝え合いから目的意識、相手意識をもった質の高い伝え合いへと変容した。
- ・児童アンケートで「自分の考えを友達に説明できる」と答えた高学年児童が56%から64%に増加するなど、表現力向上の成果が見られた。
- ・全国学力学習状況調査において、算数A問題、B問題ともに、県平均、全国平均を上回った。
- ・学力調査では「書く力」に課題が見られた。全教科で思考力・判断力・表現力を育成するための具体的な指導を行っていく必要がある。

